大学施設の紹介

施設の利用に関する最新情報は本学ウェブサイトにてご確認ください。

中嶋記念図書館

どなたでもご利用いただけます。
※ 静かな学習環境を保つため、カメラや携帯電話での撮影はご遠慮ください。

言語異文化学修センター(LDIC)

言語異文化学修センターは、外国語の自律学修を支援する施設です。英語をはじめ多数の外国語に関する豊富な教材と充実した設備を整えています。

お問合せ

本学教職員の派遣や学生との交流に関するご相談・お問合せ先

国際教養大学
応用国際教養教育推進課
地域連携チーム
Tel：018-886-5904(平日 9:00～17:00)
E-mail：cos@aiu.ac.jp

※ 土・日曜日、国民の祝日、8月13日から15日、12月29日から翌年1月3日及び本学の開学記念日(4月8日)は事務を取り扱いません。

公立大学法人
国際教養大学
Akita International University

発　行　2025年4月
発行者　公立大学法人国際教養大学
〒010-1292 秋田県秋田市雄和椿川字奥椿岱
Tel：018-886-5900
URL：https://web.aiu.ac.jp/

公立大学法人
国際教養大学の地域連携活動
2024年4月～2025年3月

公立大学法人
国際教養大学の地域連携活動

2024年4月～2025年3月

目次　CONTENTS

はじめに……1

教育・国際交流……3-6
- イングリッシュビレッジ　3
- AIU サイエンス ラボ　3
- 地域と学生の交流　4
- 御所野学院中学校・高等学校との連携　5
- 高校生と一緒に英語で国際法！　5
- ティーチャーズセミナー　5
- 地域の日本語教育支援　6

企業連携……7-8
- AIUデザインLAB　7
- AI活用実践ワークショップ　8
- 洋上風力発電事業における人材育成　8
- JR東日本寄附講座　8

学術連携……9-10
- 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)　9
- デザイン創造・データサイエンスセンター　9
- 高齢者の健康支援体制強化に関する研究　9
- 秋田工業高等専門学校との共同プロジェクト　10
- TOYOTA SHARE 共同実証研究　10
- 秋田伝統文化の英語デジタルアーカイブ　10
- AIU リサーチ・ショーケース　10

大学施設の紹介 / 各種申込方法　……裏表紙

はじめに

2004年4月の開学以来、国際教養大学では教育、研究、国際貢献・地域貢献活動の3つを大学の責務として位置づけてまいりました。

私どもはこれまで、中嶋記念図書館、言語異文化学修センター(LDIC)、カフェテリア、カレッジカフェ、Suda Hall(多目的ホール)などの学内施設の一般開放はもちろんのこと、本学が有する教育資源を活用してイングリッシュビレッジをはじめとする教育機会の提供、地域活性化、異文化交流の促進、研修の場の提供等々、さまざまな取組を通して秋田県のみならず各地域へ新しい風を吹き込んできたと自負しております。

現代の大学には、教育および研究機能に加えて、社会貢献の機能が求められています。本学は秋田県にある公立大学として市町村や地域のみなさまのお力添えをいただきながら、積極的な交流活動を行い、県境・国境、世代を超えた人々とのつながりを育んでまいりました。同時に、県内出身学生の郷土愛、県外出身学生の秋田に対する新たな見識、そして世界各国からの留学生の異文化理解をより一層深め、「秋田から世界へ」「世界から秋田へ」という流れを実現するよう努力しております。

現代社会は急速に変化しており、AIをはじめとしたデジタル技術の発展には目覚ましいものがあります。このような新たな技術を活用してどのように人々の暮らしを豊かにしていけるのか、先進的な技術を持つ企業と連携することで、本学の全人教育のさらなる進化と研究及び社会貢献の高度化に挑戦しております。また、産学連携課題解決プログラム「AIUデザインLAB」や共同研究等の多彩な活動を通して、本学の教育と研究の成果を地域へと還元していく所存です。

私どもは地域に開かれた大学、地域と共に歩む大学として、地域のみなさまとの連携を推し進めていきたいと考えています。本誌には、秋田と世界をつなぐ活動に取り組んできた2024年度の地域貢献活動をとりまとめておりますので、御一読いただければ幸いです。

みなさまの温かい御理解と一層の御支援のほど、よろしくお願いいたします。

公立大学法人　国際教養大学
理事長・学長　**モンテ・カセム**

●各ページに掲載している本学教員紹介は、2025年3月1日時点の情報です。
●各ページに掲載しているQRコードは本学ウェブサイトの関連ページにリンクしています。

教育・国際交流

本学では200を超える海外提携大学などから留学生が学びに来ており、「世界の縮図」ともいえる多文化共生空間を形成しています。「英語で英語を学ぶ」ことにおいては独自のノウハウを有し、小中高等学校の教育現場に還元できるよう取り組んでいます。また、多様な人材が地域の方々と交流することで、地域の国際化推進に貢献しています。

イングリッシュビレッジ

イングリッシュビレッジ

イングリッシュビレッジは、中高生を対象とした英語研修プログラムです。本学の学生（大学院生、学部生、留学生）が、教員から事前にトレーニングを受け、講師として参加生徒の指導にあたります。国際教養大学というグローバルな環境で、「英語で英語を学ぶ」機会を楽しんでいただいています。
2023年度まではスーパーグローバル大学創成支援事業の補助金を受けて実施してきましたが、2024年度より名鉄観光サービス株式会社仙台支店と連携し、運営体制を構築したことで、持続可能なプログラム提供が可能となりました。

セッションの一場面

対　　象　県内外の中高生
開催実績　11回

外部サイトに移動します

内田 浩樹
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科長・専攻長、英語教育実践領域代表／教授

中高生が実践的な英語を学び、本学の学生が教師としてのスキルを学ぶという、双方にメリットの大きい事業モデルを実現しました。

AIU サイエンス ラボ

本学の実験室を会場に、小学生向けの科学体験を英語で実施する活動です。小学生は学生によるサポートのもと「熱と物体」というテーマで液体窒素とヘリウムを用いた活動に挑戦し、熱を加えたり冷やすことによる物質の変化を学びました。風船を使った活動では、熱の影響で形を変えていく様子に驚きながらも、目を輝かせて観察していました。

風船を使った実験の様子

対　　象　秋田市の小学生
開催実績　1回

アンディ・クロフツ (Andy CROFTS)
国際教養学科長、地域連携協働研究センター長
グローバル・コネクティビティ領域／教授

実験室での実践的な活動は、小学生が楽しみながら科学を見て学ぶ絶好の機会です。これらの体験が、私たちを取り巻く実社会において科学がどのように作用しているかを理解し、解明することについて関心を深めるきっかけになることを期待しています。

地域と学生の交流

本学と国際交流に関する連携協定を結んでいる秋田県内の8市町村（八峰町、大仙市、男鹿市、由利本荘市、美郷町、仙北市、大潟村、羽後町）を中心に、多くの学校・団体と様々な交流活動を実施しています。

地域の学校・団体との交流

2024年度も、県内各地の保育園、小・中・高等学校、大学などの教育機関や地域団体と多彩な交流の機会を持つことができました。本学学生との交流を通じて、地域の皆さまには本学ならではのグローバルな雰囲気を体感していただきました。留学生と交流することで英語でのコミュニケーションの楽しさや異文化への理解を深める貴重な機会を提供し、日本人学生との交流では将来の進路を考えるきっかけとしても活用されています。

小学校でゲームを楽しむ様子

保育園での給食

小学生への母国紹介

鈴木 洋一 教育長
八峰町教育委員会

地域の声

八峰町は、2007年にAIUと協定を結び、交流を続けてきております。学生との交流は、活きた英語に触れる機会の少ない児童・生徒にとって良い刺激となり、英語学習への意欲向上に繋がっています。

【活動例】
- 生徒による英語での地元紹介や研究発表
- 日本の文化や遊びを通じた交流
- AIU を選んだ理由などの進路講話
- 日本人学生による留学した国の紹介
- 留学生による出身地の紹介
- 外国人観光客向けモニターツアーへの留学生派遣

地域の行事・イベントへの参加

本学の所在地である秋田市をはじめ、県内各地の方々と伝統行事やモニターツアー、各種イベントを通じた継続的な交流を行っています。

秋田市新屋のお祭りに参加

秋田市小平岱での収穫祭

2024年度地域交流活動実績

学校・団体	開催回数
保育園・幼稚園	13
小　学　校	11
中　学　校	29
高　等　学　校	7
そ　の　他	20
計	80

ライモナス・ビルピシャウスカス
（Laimonas VILPISAUSKAS）
2024年秋学期～／
短期留学生：セントラルランカシャー大学（イギリス）

地域との交流は、旅行だけでは味わえない、日本や秋田の新たな一面を発見するきっかけになります。普段の大学生活では関わることのない、子供達や地域の方とのつながりが生まれるのも一つの魅力です！

学生との交流活動に関する情報・お申し込み

お問合せ
地域連携チーム　TEL：018-886-5904
Mail：cos@aiu.ac.jp

御所野学院中学校・高等学校との連携

教員と学生が定期的に学校を訪問し、ゲームやプレゼンテーションなど英語でのコミュニケーション活動を通じて交流しています。

生徒とゲームをする学生

開催実績 中学校　10回
高　校　4回

カルロス・バディング (Carlos BUDDING)
言語異文化学修センターコーディネーター
英語集中プログラム、外国語教育／准教授

本学の学生が日英で行う授業・アドバイスは、学生・中高生双方にとって、より身近な雰囲気で学び合う貴重な機会となっています。

地域の声

髙橋 健一 先生
御所野学院高等学校
英語科主任

御所野プロジェクトは、本校生徒と国際教養大学生との交流の場です。大学生とコミュニケーションを図ることで英語学習のモチベーションにつながり、多文化交流にも興味・関心を持つ生徒が増えています。

高校生と一緒に英語で国際法！

国際法や国際機構論の講義の一環として、本学の学生と高校生が一緒に学ぶオンライン・ワークショップを開催しています。英語での議論を通じて、互いの学びを深めています。

オンラインワークショップ

対　　象 県内外の高校生
開催実績 3回

豊田 哲也
図書館長、能動的学修センター長
グローバル・スタディズ領域／教授

国際法や国際機構論を知識として学ぶことも大事ですが、その成果を活かして現実の国際問題を議論できるようにすることはもっと大事です。英語で議論！の試みを、楽しく実践しましょう。

ティーチャーズセミナー

小学校で英語を担当する先生方が、コミュニケーション中心の実践的な英語の授業ができるように指導スキルの向上を目指します。また、先生方の英語に対する不安を軽減し、ALTとの連携を活発化させ、日々の英語の指導に自信が持てるようにサポートします。3日間の研修の最終日には、同じ班の先生方やALT役の本学留学生らと協力しながら、由利本荘市の小学校から参加してくれた児童に英語のミニ授業を実施しました。

模擬授業

対　　象 県内の小学校教員
開催実績 小学校外国語活動教員研修事業　39名

町田 智久
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科
英語教育実践領域／教授

「英語を英語で教える」ことの意味やその手法、授業づくり、ALT とのティーム・ティーチングなどについて、秋田県教育委員会と協働で研修を開発し、本学教員がワークショップを実施しました。

英語教員指導力向上セミナー

国際教養大学では小中高等学校の英語教員の指導力向上を目的とした研修を全国の学校・教育委員会等に提供しています。本学教員による英語教育研修を希望される団体は、QRコードより各講座の詳細をご確認のうえ、講師の派遣をお申し込みください。

地域の日本語教育支援

本学の日本語プログラム及び専門職大学院日本語教育実践領域では、教員や大学院生の専門性を活かし、外国人生活者や就労者に対する日本語教育実践や地域人材の養成、ネットワーク構築など、秋田県の地域日本語教育の推進に貢献しています。

日本語教育の人材育成

秋田市の日本語教室や日本語学習支援者養成講座で指導してきたほか、2022年度からは「なか東北連携」による地域日本語教育専門人材養成事業を開始し、山形大学や岩手大学、地域国際化協会、NPO と連携して地域日本語教育専門人材の養成を行っています。

日本語学習支援者養成講座の様子

平田 友香
日本語プログラム／非常勤講師

「なか東北連携」の講座では、コースデザインから教授法、評価など知識・技術を持った地域日本語教育の専門人材を育成します。受講者は、秋田に暮らす外国人の言語使用場面を考えた指導方法を身につけていきます。

技能実習生への日本語教育

秋田外国人材協同組合からの依頼を受け、県内のベトナム人技能実習生６名に対し入国後講習を実施しました。教員の監修の下、大学院生が日本語教育プログラムの設計を行い、指導にあたりました。この取り組みは、学生が地域や関係団体と連携し、スキルや人間力を養う貴重な機会となりました。

フィールドワークの事前学習の様子

嶋 ちはる
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科
日本語教育実践領域／准教授

今回の入国後講習では、技能実習生が対象だったということもあり、大学院生は、普段接しているAIUの留学生とは異なるニーズを考慮したコースを考える貴重な経験ができたのではないかと思います。

■入会のお願い

国際教養大学は、世界中から集まった優秀な教授陣がすべての授業を英語で提供し、徹底した少人数教育を行うなど、従来の大学にはない特徴を備えた大学です。
21世紀の大学教育を変えるパイオニア的役割を担った国際教養大学の挑戦は、秋田県はもとより、日本全体でも画期的な取組であります。『国際教養大学サポーターズクラブ』は、この大学が着実に発展するよう物心両面から応援するとともに、大学と会員との交流・連携の促進などを目的としております。何卒、趣旨にご賛同賜り、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

国際教養大学サポーターズクラブ
会長　三浦　廣巳

■年会費

個人一口 3,000円、 法人 一口 10,000円

入会を希望される方は、以下のQRコードを使用し表示されるフォームに入力いただくか、事務局へご連絡ください。

国際教養大学内サポーターズクラブ事務局
電話：018-886-5904
FAX：018-886-5910
Email: aiu-supporters-club@gl.aiu.ac.jp

企　業　連　携

本学の全人教育の更なる進化を目指し、2022年4月に能動的学修支援センター、デザイン創造・データサイエンスセンター及び地域連携協働研究センターという3つの組織により構成される「応用国際教養教育推進機構」を設置しました。その一つである「地域連携協働研究センター」では、企業・団体と協働で地域の課題解決に取り組むことで、社会貢献の高度化に努めています。

デザイン思考実践（安藤醸造）

AIUデザインLAB

AIU デザインLAB は、地域や企業が抱えるさまざまな課題の解決へ向けて、学生と企業が協働で取り組む産学連携プログラムです。基礎編のワークショップで、課題解決に有効な手法「デザイン思考」を修得し、そこで得られた着想を応用編「デザイン思考実践」で実際の活動に結び付けていきます。

プログラム構成

基礎編（インプット）

LAB 1.
デザイン思考ワークショップ
課題解決のプロセス・思考を身に付ける
2日間の短期集中型ワークショップ

応用編（アウトプット）

LAB 2.
デザイン思考実践：事業創造プロジェクト
課題解決につながるビジネスアイデアを創出し、起業や新事業創出の精神を醸成する

LAB 3.
デザイン思考実践：秋田県内企業課題解決型学修
各企業の課題についてデザイン思考を用いながら解決策の提案・実装に挑戦する

LAB 1.これまでの取組例

◎にぎわいの創出とモビリティの革新で秋田の未来をつくる
◎“誰もが来たくなるような秋田”を実現するビジネスアイデアを創造せよ！
◎“若者が働きたくなる秋田”を実現するビジネスアイデアを想像せよ！
◎縮小する国内需要を見越した海外販路拡大に資するプロダクトや販売手法を創造せよ！
◎秋田のものづくりの現場に飛び込み、体感し、その魅力を発信せよ!!

デザイン思考ワークショップ

LAB 2.の取組例

秋田県が誇る日本酒を世界のマーケットにつなげるため、日本酒のうまみ（umami）を伝えられる質の高い翻訳/通訳と販売支援事業の創造に取り組みました。

安達 紗羅（左）、**柴田 春音**（右）
（2024年入学／学部生）

LAB2では、今自分たちが抱く「秋田への怒り」をビジネスに落とし込む難しさと楽しさを感じました。今後も事業実現に向けて活動を続け、私たちの事業で秋田を日本一わくわくする場所に変えていきたいです。

秋田県内の企業の方へ
AIU生と協働で課題解決に取り組みませんか？

お問合せ
地域連携チーム　TEL：018-886-5835
Mail：aiu.collaboration@gl.aiu.ac.jp

産学官連携による人材育成

本学のリベラルアーツ教育を進化させるため、地域連携協働研究センターでは、企業や他大学との連携による教育・人材育成の取組を強化しています。再生可能エネルギーに関する産学連携の研究会、AIを活用した課題解決実践プログラム、現場訪問型観光教育など、実践的な学びを通じて、地域や産業の未来に貢献できる人材育成を目指しています。

AI活用実践ワークショップ

（株）日南、テクノプラン（株）と、人材育成や産学連携を推進することを目的に連携協定を締結。「With AI ―AIと創るクリエイティブ超創作術」と題して、AIを活用した実践ワークショップ（全4回）を実施しました。

伊藤 和
（2021年入学／学部生）

ワークショップ

AIに効果的な指示を与えることで、自分の中の漠然としたアイデアを数分で具体化し、画像を生成してくれます。AIは「あったらいいな」を創造し社会問題解決の糸口になることがわかりました。

洋上風力発電事業における人材育成

洋上風力開発で求められる人材育成は、一大学では対応しきれません。この課題を複数の大学と企業が協力して前進させようとしています。本学が所属するコンソーシアムが実施したスコットランドでの研修に学生が参加しました。

宮本 希
（2022年入学／学部生）

スコットランドでの研修

実践を伴う学位カリキュラムや政府の研究開発支援、海洋再エネの可能性と課題を学びました。また、新ビジネス事例や現地の日常を通して、その実現に必要な多様な協力や技術力の重要性を再認識でき、非常に興味深かったです。

JR東日本寄附講座

観光促進による地域社会の発展・活性化を目指す観点から、冬の秋田県における観光の可能性と課題について、本学とタイの学生がモニターツアーを通して探求します。

水野 智仁
グローバル・スタディズ領域長／教授

タイの学生とディスカッション

厳冬の秋田には伝統行事や四季折々の景観、特色ある食文化がありますが、果たして県外からより多くの旅行者を呼び寄せるに足る観光資源としての魅力はあるのでしょうか。日本とタイの学生が、若者目線からこの問いに挑んでみました。

学　術　連　携

応用国際教養教育推進機構のもと、科学研究と産官学の連携を通じ、地域に根付き世界へと広がる革新的な研究・教育・地域貢献の推進力となることを目的として「デザイン創造・データサイエンスセンター」を設置しています。様々な学術機関との連携事業を通して、多様な研究活動を展開しています。

ソウゾウの森会議

共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）

令和６年度COI-NEXT 共創分野（本格型）採択「技術 × 教養 × デザインで拓く森林資源活用による次世代に向けた価値創造共創拠点」プロジェクトにおいて、秋田県の３つの公立大学（秋田県立大学、秋田公立美術大学、国際教養大学）と（株）Q0に代表される民間企業や秋田県がそれぞれの強みを発揮して、地域社会を共に創り、新たな社会への変革を促進する事業に取り組んでいます。このプロジェクトでは、地域の豊かな森林資源の活用を事業の柱として、地域に貢献できる人材育成や新たな産業の創出を目指します。

ソウゾウの森会議

外部サイトに移動します

ソウゾウの森会議

本事業では、地域人材の育成と協業、起業家精神の醸成を目的に、「ソウゾウの森会議」を開催しています。自分らしい生き方を想像し、秋田という風土のなかでの暮らし方と働き方を創造する人々が集う場所です。

2024年度開催実績

開催日	テーマ	開催地
5月25日（土）	「はじめる、ソウゾウの10年」	秋田市
6月29日（土）	「湧き出る多様性、ソウゾウの100年」	鹿角市
7月27日（土）	「失敗から学ぶ」	秋田市
9月28日（土）	「家～私の暮らしをつくる～」	大館市
10月26日（土）	「だれしもが活躍できるように」	秋田市
11月30日（土）	ソウゾウの森大会議「混ざりあう森」	秋田市

デザイン創造・データサイエンスセンター

デザイン創造・データサイエンスセンター（Creative Design & Data Science Center：CreDDS Center）では、データサイエンスの視点に基づき、教育・研究・地域貢献の充実を目的としたデータの収集・分析及びそれに基づく提言等を行います。学修に関するデータ、産業界や学生の研究活動から収集するデータ等の分析を通し、さらに、デザインの発想も組み入れながら、教育・研究・地域貢献の充実を図っています。

デザイン創造・データサイエンスセンターの4つの柱

1．データ集積用のツール開発
2．データベースの構築と共有
3．解析のためのツール開発
4．開発ツールによるモデル化と社会実装

精山 明敏
デザイン創造・データサイエンスセンター長／特命教授

高齢者の健康支援体制強化に関する研究

NPO法人ASHA が取り組む「高齢者の健康と学生の学び・愛着の循環を生む地域と地方大学の『つながり』の仕組み：デジタルを活用した『地域健康サポーター』」（2023年度トヨタ財団研究助成プログラム）に参画しています。高齢者と大学生との新たなつながりを形成し、高齢者の健康支援体制の強化と地域のつながりの増進を図ることを目的に、河辺地区のコミュニティや自治会のご協力のもとで、地域の方々とAIU生が定期的な交流を行っています。

交流の様子

任 喜史
特定非営利活動法人ASHA ／代表理事
国際教養大学応用国際教養教育推進機構／客員研究員（国際教養大学卒業生）

AIU在学中に出会った領域で培った知見や経験・ネットワークを活用して学際的な研究と実践を融合させた活動を展開し、地域社会に貢献するための新たな接点を創出したいと考えています。

秋田工業高等専門学校との共同プロジェクト

この共同プロジェクトでは、泥湯温泉（湯沢市）の温泉水や廃棄される温泉泥を利活用した化粧品を研究・開発し、販売につなげることを目的としています。現在、秋田工専からは資源循環工学、本学からは経営学の専門家が、また両機関からそれぞれ数名ずつ学生が参画しています。

アンディ・クロフツ（Andy CROFTS）
国際教養学科長、地域連携協働研究センター長
グローバル・コネクティビティ領域／教授

このプロジェクトが地域経済を活性化するとともに、本学と秋田工業高等専門学校が長期間にわたる積極的な協力関係を築くことで、双方の講義や研究活動のさらなる発展につながると期待しています。

秋田伝統文化の英語デジタルアーカイブ

秋田県技術イノベーション創出・活用促進事業に採択されたプロジェクトを基に、東北の地元の方々、学生とともに東北デジタルアーカイブプロジェクトを開始しています。英語デジタルアーカイブを構築するだけではなく、地元高校生の英語、ウェルビーイング アーカイブ教育にも連携することを目指しています。

千葉 加恵子
グローバル・コネクティビティ領域／准教授

外部サイトに移動します

東北には大切な民俗、食、芸能文化がありますが、関わりのある職人、農家の方、女性に焦点が置かれていません。彼らの貴重な声を多くの海外の方に知っていただけるよう、発信していきたいと思います！

TOYOTA SHARE 共同実証研究

トヨタ自動車（株）のカーシェアリングシステム「TOYOTA SHARE」を搭載した車両４台を本学駐車場に配備し、学生・教職員の利用統計から共同実証研究を行っています。

中川 秀幸
地域連携協働研究センター
コーディネーター
グローバル・ビジネス領域／准教授

学内のカーシェアポート

カーシェアリングサービスが持続可能な17の開発目標（SDGs）「気候変動に具体的な対策を」や「住み続けられるまちづくりを」という目標の達成に寄与する効果を測定・検証する共同実証研究を行います。

AIU リサーチ・ショーケース

「AIU リサーチ・ショーケース」とは、本学の教員と学生が日ごろの研究成果を発表し、学内外のコミュニティで共有するオンラインイベントです。海外提携校の研究者も招待し、国際的な学術交流につなげています。各プレゼンテーションはアーカイブとして本学ウェブサイトに公開しています。

開催期間　11月22日（金）～12月16日（月）
発表者　教職員・学生：8組
海外提携校：11組

プレゼンテーションの一例

- 研究室でのさらなる冒険：コンピュータ支援設計、3D印刷、プログラミング、光合成原生生物ユーグレナ・グラシリスを用いた実験計画スキルの構築
- 民族誌的研究プロジェクト：言語、文化、アイデンティティ